



84112-XMV-K0S0 SHUTTLE WING SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行ってください。

【適合車種】 SHUTTLE DAA-GP7・8 DBA-GK8・9

【色記号】	無限色	ホンダ色記号	色名
	WO	NH788P	ホワイトオーキッド・パール
	AS	NH700M	アラバスターシルバー・メタリック
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	TS	NH823M	ティンテッド・シルバー・メタリック
	BX	B610M	ブルービーム・メタリック
	MD	RP50P	ミスティックカーネット・パール
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 営業1課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日除く）】

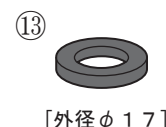
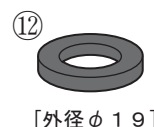
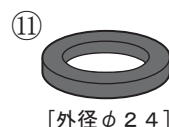
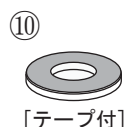
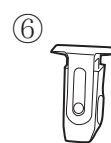
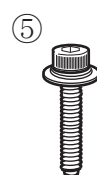
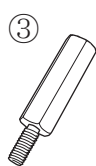
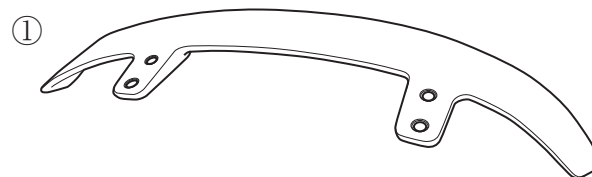
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. ウイングスポイラーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。ウイングスポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイングスポイラー	1
②	キャップ	4
③	スペシャルボルト	2
④	キャップボルト a [M6×20]	2
⑤	キャップボルト b [M6×30]	2
⑥	ターンナット	2
⑦	ジャックナット	2
⑧	ワッシャー 大	2
⑨	ワッシャー 小 [テープ無]	2
⑩	ワッシャー 小 [テープ付]	4
⑪	パッキン 大	2
⑫	パッキン 中	2
⑬	パッキン 小	4



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑭	クッション L	1
⑮	クッション R	1
⑯	エンブレム	1



【必要工具】

- ・六角レンチ ・スパナ 12mm ・ドリルφ3、φ6、φ8、φ11.5、φ12
- ・トルクレンチ ・エアースー ・キリ ・ウエス ・イソプロピルアルコール
- ・マスキングテープ ・タッチアップペイント
- ・ハンドナッター(ポプリベットファスナー製 SC-123J 相当品)

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。
推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

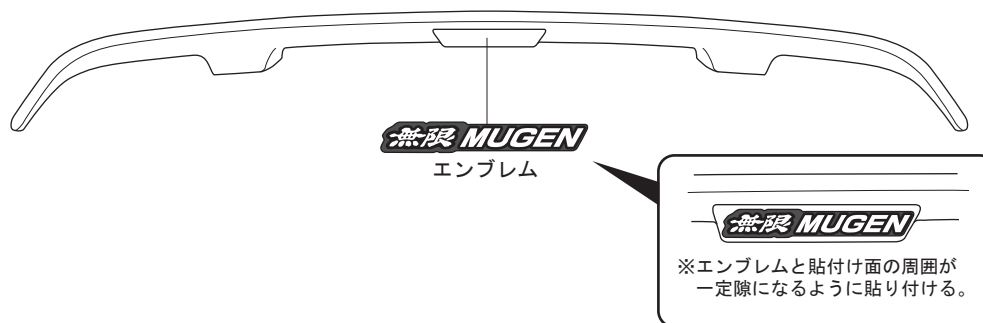
I. 取付準備

- 《注意》・ウイングスポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様にを行うこと。
・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること

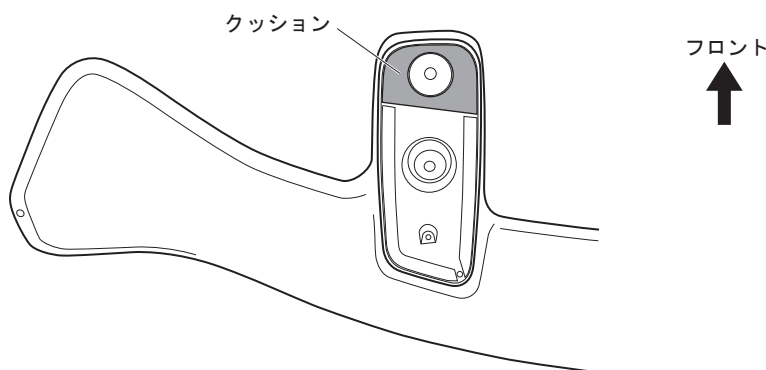
- ①未塗装品の場合は塗装後、ウイングスポイラー後部中央にエンブレムを貼り付ける。
(貼付け面を脱脂すること)

注 意

接着力を向上させる為、エンブレム貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、テープ面をドライヤー等で温めてから作業を行うこと。



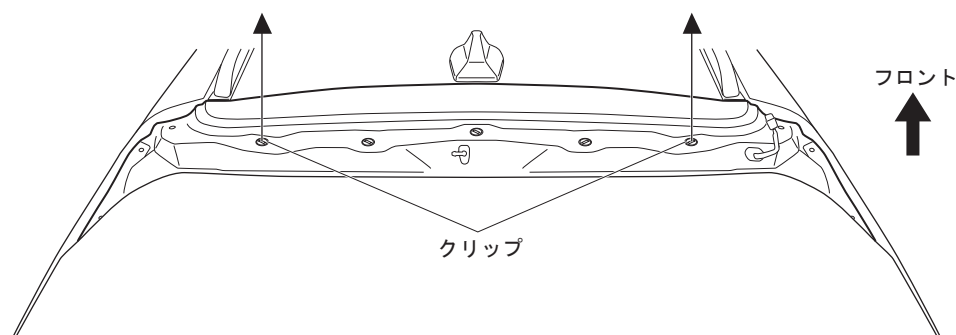
- ②未塗装品の場合は塗装後、ウイングスポイラー左右脚部裏側にクッションを貼り付ける。
(貼付け面を脱脂すること)



※L側も同様

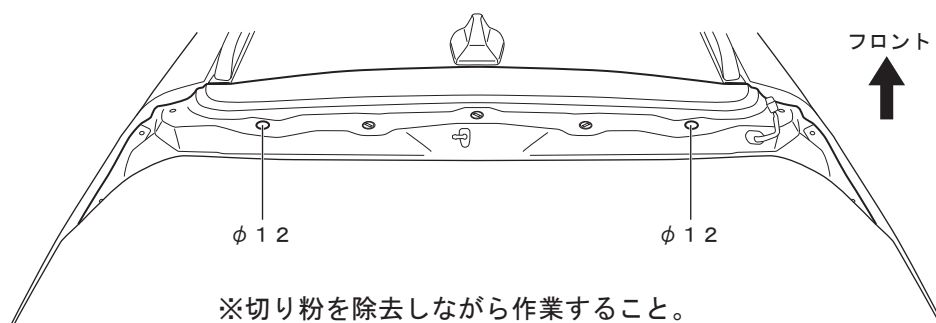
- ③車両からテールゲートスポイラーを取り外す（サービスマニュアル参照）。

- ④テールゲート上面の下図で示す車両クリップ（2ヶ所）を取り外す。
※取り外した車両クリップは、ウイングスポイラーの取り付けには再使用しない。



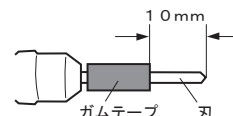
⑤テールゲート上面のクリップ取り付け穴（2ヶ所）をφ12に拡張する。

※作業後はバリを取り、穴端部をタッチアップすること。

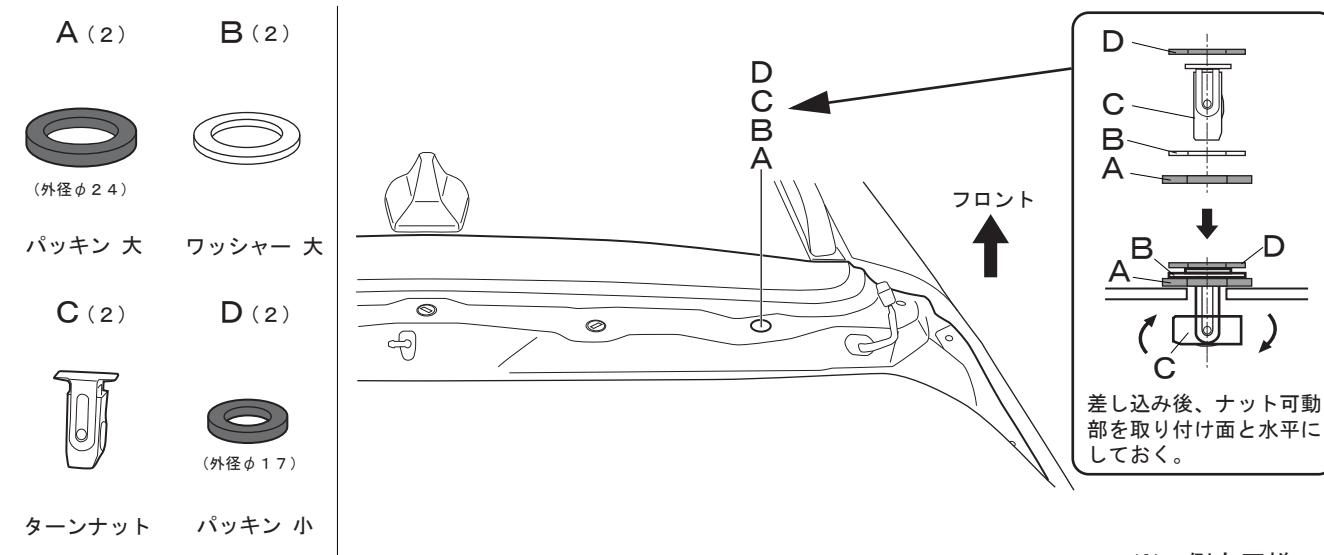


注 意

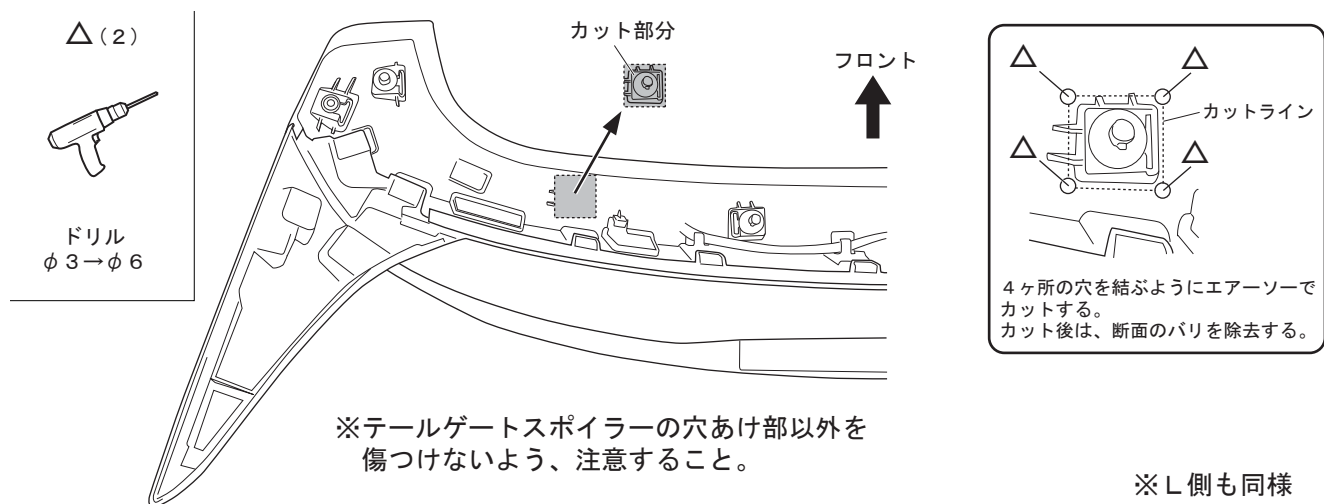
ドリルを使用して穴を拡張する場合は、図のようにガムテープ等で刃にストッパーを巻くこと。
また、穴を大きく開けすぎないように慎重に作業すること。



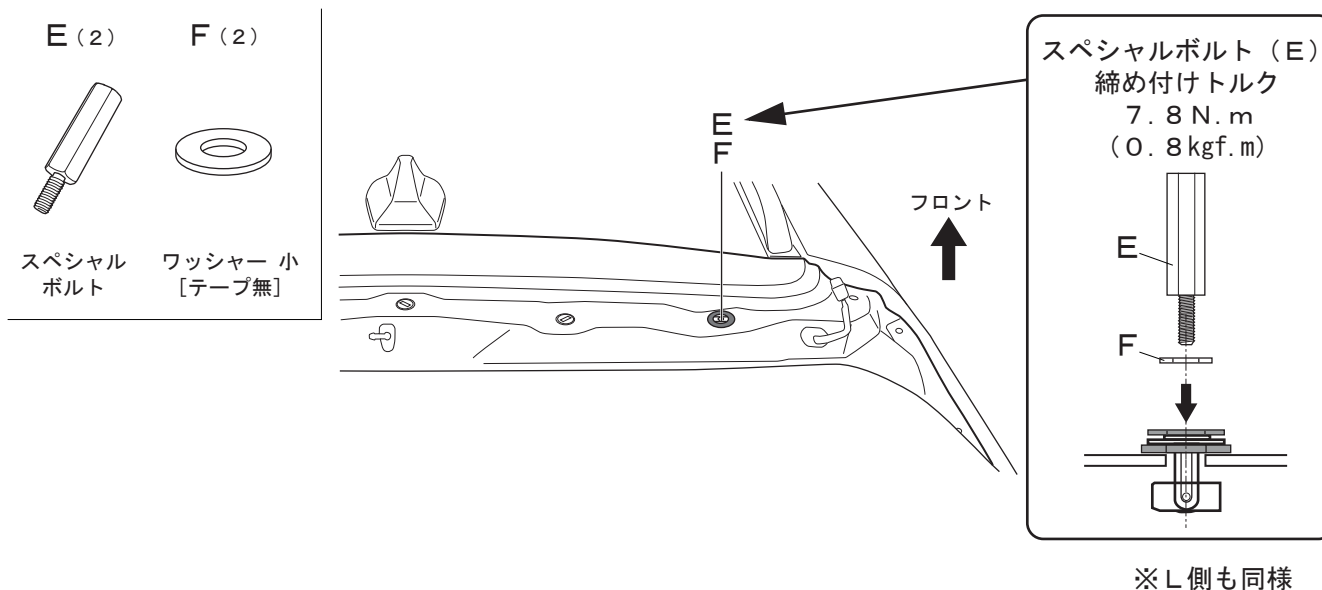
⑥拡張した穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン 大 (A) を貼り、ワッシャー 大 (B)、ターンナット (C)、パッキン 小 (D) を取り付ける。



⑦テールゲートスポイラー裏側の下図位置にφ6の穴を4ヶ所あけ、エアソーでカットする。カット後、断面のバリ、切り粉を除去する。

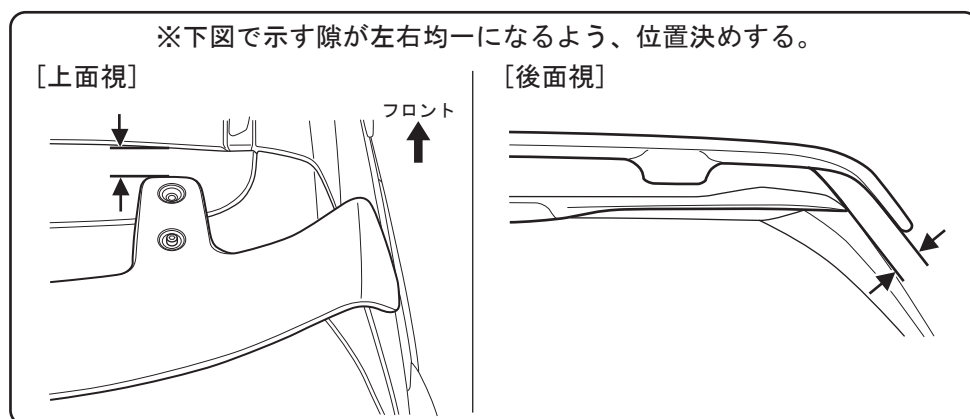
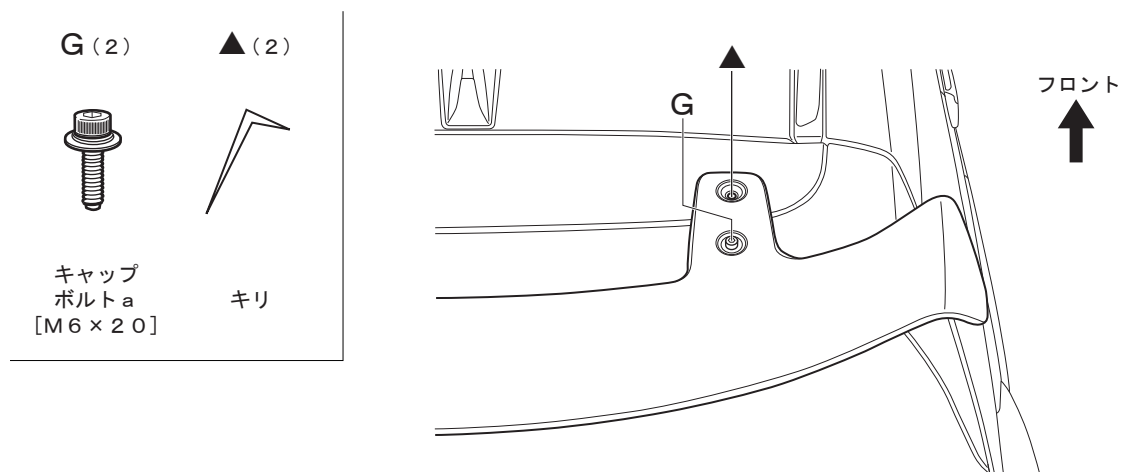


- ⑧テールゲートに取り付けたターンナットにスペシャルボルト（E）、ワッシャー 小 [テープ無]（F）を取り付ける。



- ⑨テールゲートスポイラーを車両に取り付ける（サービスマニュアル参照）。
その際にボルト類は取り付けず、クリップのみで仮取り付けする。

- ⑩ウイングスポイラーを車両に仮当てし、取り付け位置を確認しながらキャップボルト a [M6×20]（G）を仮締めする。ウイングスポイラー脚部前方の穴中心に合せて車両テールゲートに穴あけ位置をキリでマーキングし、ウイング スポイラーを取り外す。



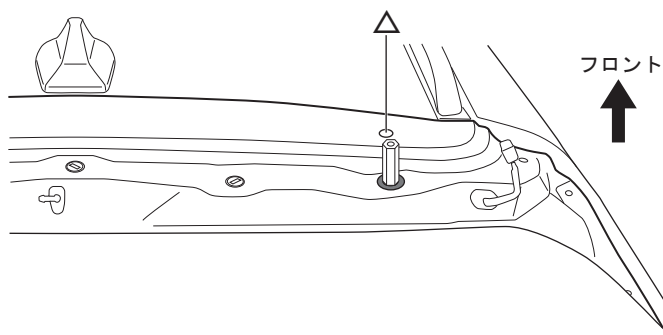
- ⑪車両からテールゲートスポイラーを取り外す（サービスマニュアル参照）。
 ※テールゲート穴あけ作業時の切り粉がテールゲートスポイラーとテールゲートの隙間に混入するおそれがある為、必ず取り外すこと。

- ⑫テールゲートのマーキング位置にφ11.5の穴をドリルであける。
 ※穴あけ後はバリを取り、穴端部をタッチアップすること。

△(2)



ドリル
 φ3→φ6→
 φ8→11.5



※L側も同様

- ⑬テールゲート上面にあけた穴周囲を脱脂洗淨後、パッキン 中 (H) を貼り、ジャックナット (I) をハンドナッターで取り付けてパッキン 中 (D) を貼り付ける。

H (2)



(外径φ19)

I (2)



パッキン 中

ジャックナット

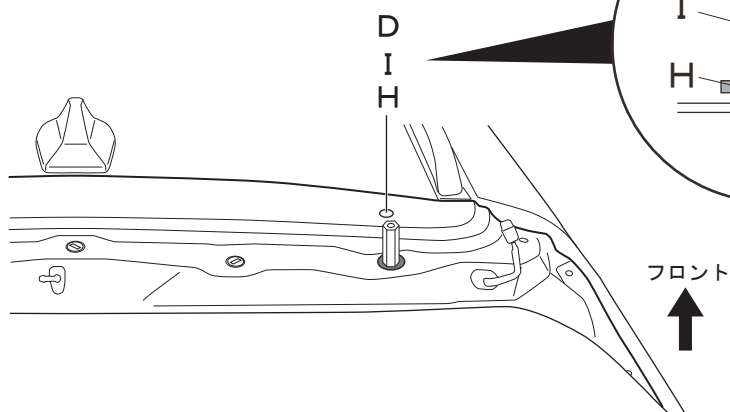
D (2)



(外径φ17)

パッキン 小

※ジャックナットを車両に差込む際は、キズが付かない様に注意すること。



※L側も同様

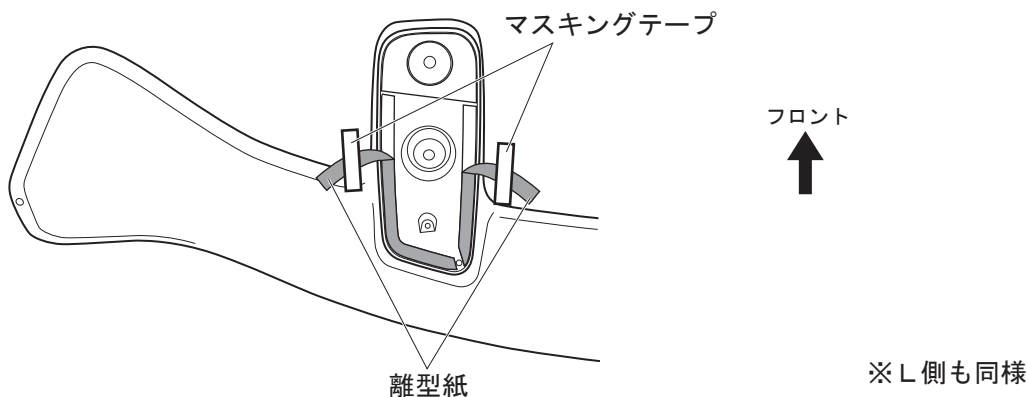
- ⑭テールゲートおよび車両に切り粉が残っていないか確認し、エアーブローして除去する。
 ⑮テールゲートスポイラーを車両に取り付ける（サービスマニュアル参照）。

Ⅱ. ウイングスポイラーの取付

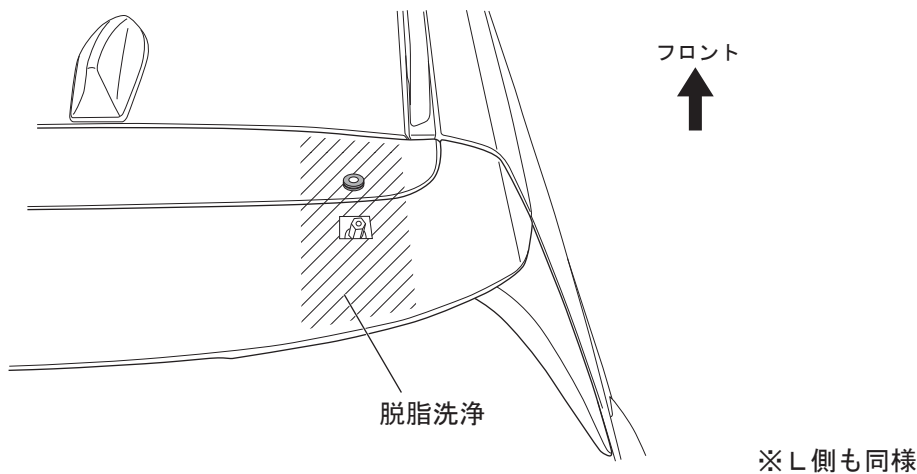
《注意》・ウイングスポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低 1 日以上は水がかからないようにすること

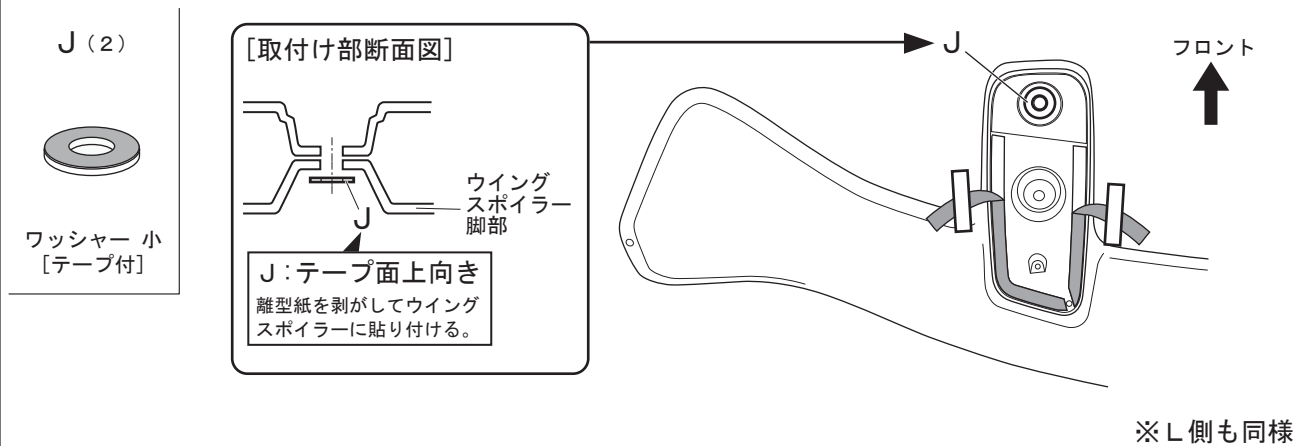
①ウイングスポイラー脚部裏側の両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表に折り返してマスキングテープで固定する。



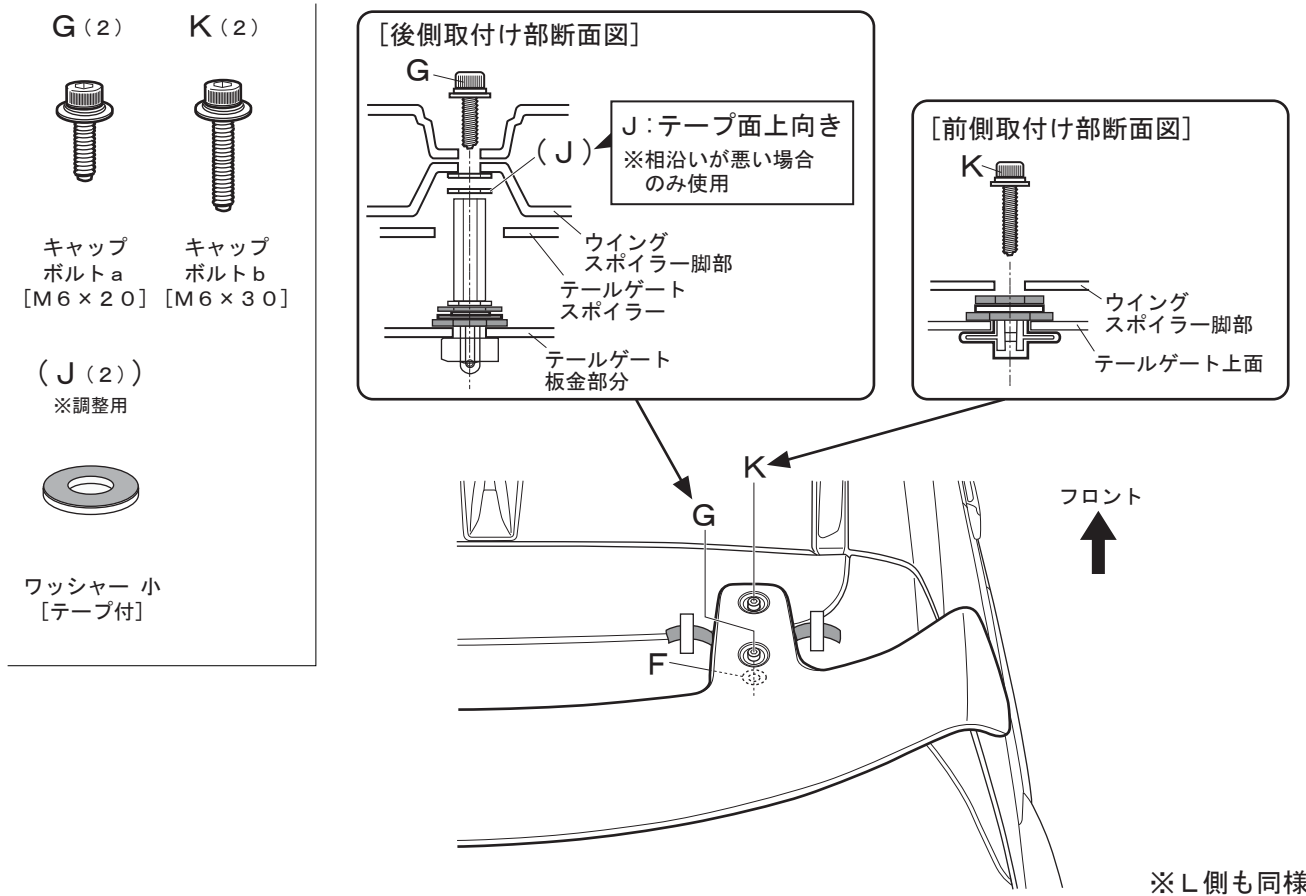
②車両テールゲートスポイラー、テールゲートの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



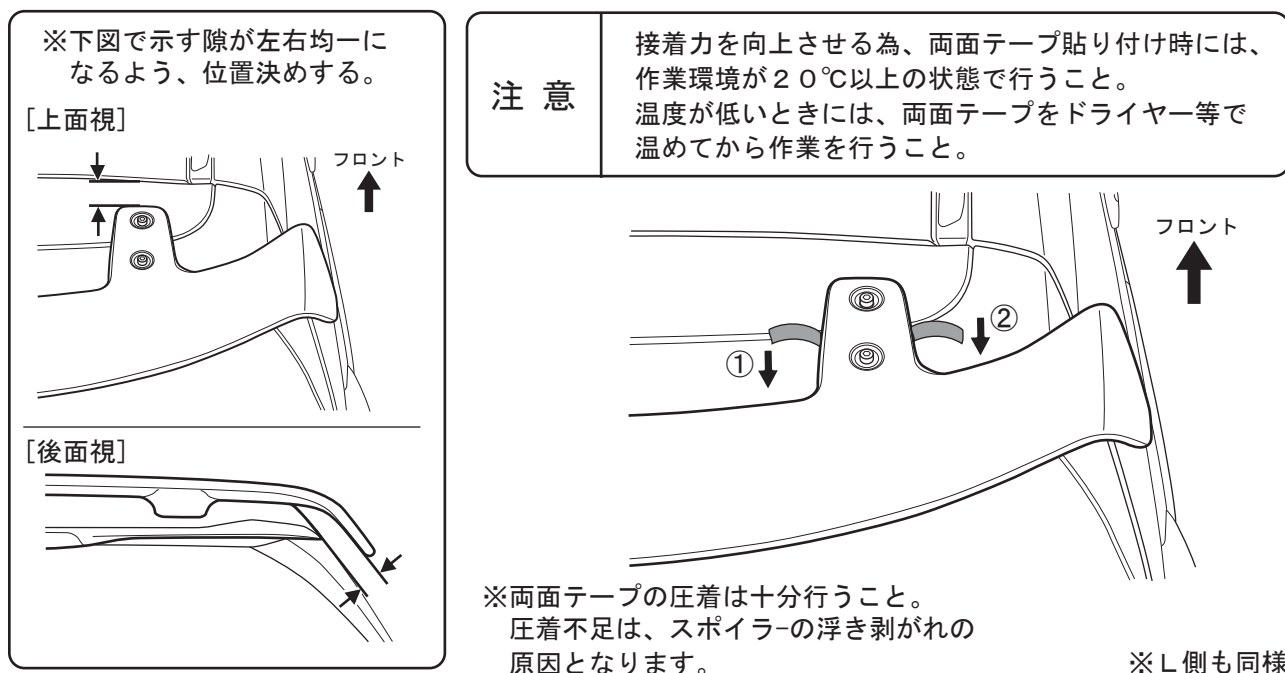
③ウイングスポイラー脚部裏側の下図位置にワッシャー 小 [テープ付] (J) を貼り付ける。



- ④ウイングスポイラーを車両に乗せ、キャップボルト a [M6×20] (G)、キャップボルト b [M6×30] (K) を使用し、取り付け位置を合せて仮固定する。
 ※車両テールゲートスポイラーとウイングスポイラーの相合いが悪い場合は、状況を見ながら P3 ⑦の工程で貼り付けたワッシャー 小 [テープ付] (J) を外すか、または追加にて調整する。

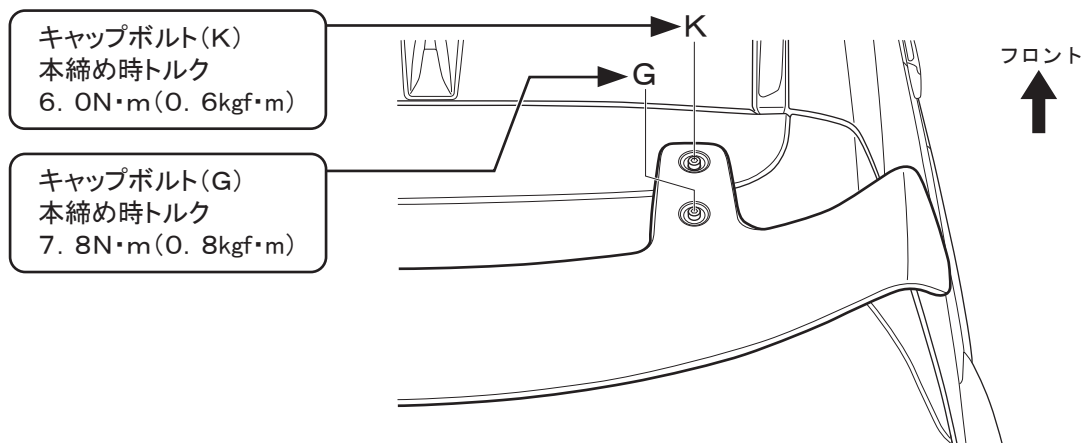


- ⑤取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。



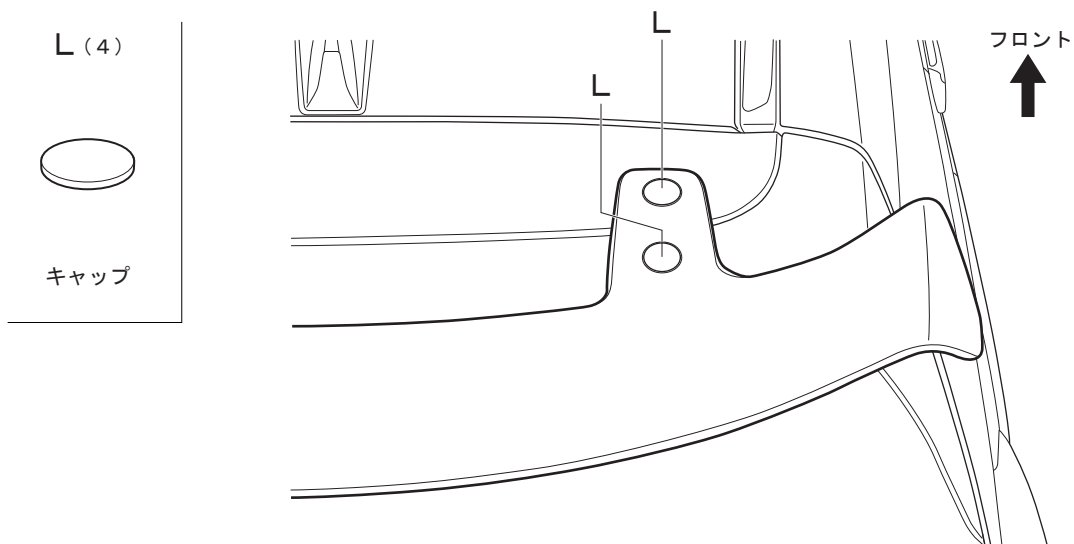
⑥キャップボルト（G）、キャップボルト（K）を本締めする。

※キャップボルト（G）、キャップボルト（K）の各本締めトルク値に注意すること。



※L側も同様

⑦ウィングスポイラーのボルト穴部を脱脂洗浄し、キャップ（L）を片側2ヶ所（左右4ヶ所）貼り付ける。



※L側も同様

※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、キャップの浮き剥がれの原因となります。

注 意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

⑧各部の取り付け状態が完全か確認する。また、ハイマウントストップランプ、ウインドウォッシャーの作動確認をする。